

参院選を前に考えてみませんか

沖縄からの 緊急報告



東京から沖縄県名護市に移り住んだフォトグラファーの山本英夫さん(通称ヤマヒデさん)。辺野古や高江の問題に取り組み、住民たちの「抵抗」を記録してきました。

～『戦後70年日本は平和だった』のモノ言いに、私は疑問を禁じえません。これには沖縄の視点が欠落しています。今沖縄は「沖縄県」かもしれませんが、沖縄は「日本」と全く別の歴史を歩まされてきたのです。

改憲の激流の中で、私達は生きることを諦めず、地域自治の流れを推し進め、沖縄と「日本」(ヤマト)の分断を超える(アジアの再発見、自然の再発見)道を歩みたい～

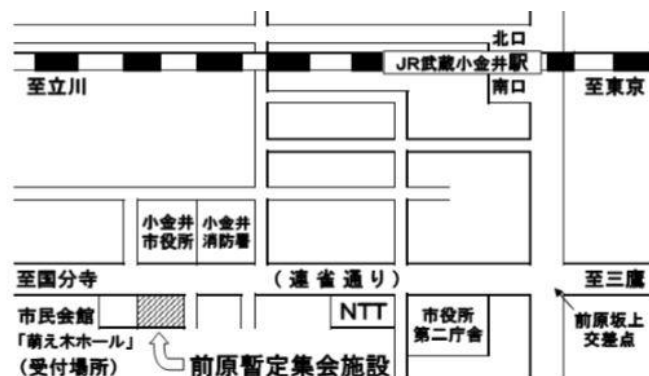
このように語るヤマヒデさんの緊急現地報告を企画しました。ぜひご参加ください。

6月10日(金)

午後7時から午後8時半

小金井市前原暫定集会施設

B会議室 資料代:500円



◎山本英夫(ヤマヒデ)さんのプロフィール

フォトグラファー(自然写真・報道写真) 1951年7月東京生まれ、世田谷育ち。東京オリンピック前の60年代初め自然破壊・人類の危機を感じ取る。67年自然保護運動から政治に関心をもつ。70年代ベトナム反戦、反安保の闘いなどに関わる。89年5月基地の島沖縄を訪ねる。11年から与那国島、石垣島、宮古島にも継続取材し、13年10月、名護市に居を移す。辺野古テント村、海上行動にも参加。スライド&トーク、写真展、パネルの貸し出し等を積み重ねてきた。ブログ「ヤマヒデの沖縄便り」を日々更新中。

主催:ヤマヒデさんの現地報告を聞く実行委員会(連絡先:佐藤 090-8179-9345)